



# シオンダラー・ベイビー



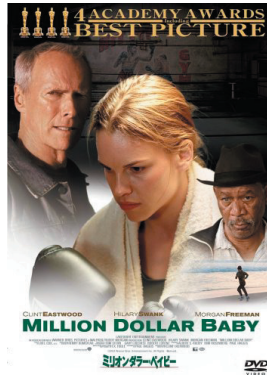
## ～story～

ボクシングジムを営んでいた老いたトレーナー、フランキー（クリント・イーストウッド）。ある時、彼にトレーナーになってほしいという女性マギー（ヒラリー・スワンク）がやってくる。最初は教えようとはしなかったが、このジムの雑用でフランキーの親友であるスクラップ（モーガン・フリーマン）は、マギーの才能を見抜き、そして毎日練習に励む彼女を見てフランキーは、彼女のトレーナーを引き受ける。

そして、力をつけていったマギーは連戦連勝し、ついにタイトル戦の話がくるが、フランキーは彼女を心配するあまりその試合を断ろうとする。しかしマギーやスクラップの説得により、彼は彼女をタイトル戦に出すことを決意する。そしてタイトル戦が始まるが、その結果マギーは全身が動かなくなり、ボクシング生命が絶たれてしまう。マギーは唯一の「生きがい」を奪われ、生きる意味を見失う。またフランキーも、自分の育てた

選手を守れなかったことに苦悩する。そして自殺未遂までしてしまうマギーに、フランキーはある決断をする……。

2005年 アメリカ  
ワーナーブラザーズ映画  
クリント・イーストウッド監督作品



映画を見終わった後、この映画が投げかける重いテーマに私はしばらく心が苦しくなった。この映画はアカデミー賞作品賞に輝いた映画だが、徐々にアカデミー賞を取ったことに納得できた作品である。

最初のうちは、ふつうのボクシング映画みたいで「ただのアカデミー賞狙いの映画かよ……」と思ってしまうが、この話は進むにつれその姿を変えていく。貧しいマギーの家庭環境、フランキーの心の葛藤、その他さまざまな要素が、想像もつかない「衝撃のラスト」に絡んでくる。生きることの意味は何か、家族とは何なのか、死ぬことよりもつらいことなどあるのか……。「生きる」ということについてのさまざまな問題が、この映画には詰まっている。さらに、スクラップという人物の存在や、さまざまな伏線、さらに俳優のすばらしい演技が、映画の「感動」の部分盛り上げる。

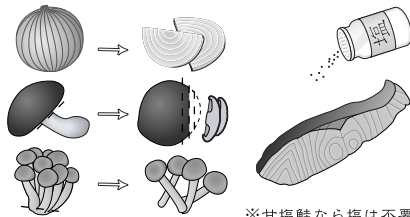
この映画には、感動とともに、内容に対して「疑問」という感想を抱くことになると思う。感動させることに徹するならば、この手の題材ならいくらでもいい話を作ることができるだろう。しかしこの映画の内容はずっと陰気くさい。そうすることで、この映画への「疑問」はよりいっそう強くなる。この映画を見たら、ぜひこの映画の問いについて考えてほしい。（ごっつ）

## かんたん Cooking

### 秋鮭と茸の酒蒸し

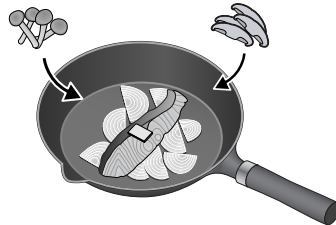
11月11日は「鮭の日」（11を分解すると十一になる）と言われ、秋鮭の最盛期です。今が旬の鮭を使った料理をご紹介します。

材料 (1人分)			
生鮭	1切れ	酒	大さじ4
(甘塩鮭でも可)		みりん	大さじ1
たまねぎ	1/2個	醤油	小さじ1
しめじ	1/4房	バター	5g
しいたけ	2枚	塩	適量
ネギ	適量	胡椒	適量

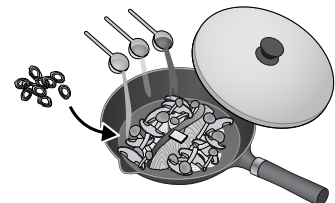


※甘塩鮭なら塩は不要

①たまねぎは半月切りに、しいたけは薄切りにし、しめじは石づきを取って小房に分ける。生鮭には塩・胡椒をふる。



②フライパンにたまねぎを並べる。その上に生鮭を置き、バターを乗せる。しいたけ・しめじは生鮭の周りに散らす。



③きざんだネギ、酒、みりん、醤油をかけ、加熱してアルコール分を飛ばす。フタをして、中火で10分蒸せば出来上がり。

## はみだしすてーじ

生協で単位は売っていないものか……  
⇒『らいふすてーじ概論』の単位なら差し上げます。

(法・2 影法師)  
(読者カードを出せば合格です；編)